

平成 27 年度
学校関係者評価報告書

平成 28 年 7 月

学校法人八文字学園

 水戸自動車大学校

■平成 27 年度 学校関係者報告書

学校法人八文字学園水戸自動車大学校は、学校評価に関する関連法令等に基づき、学校関係者評価委員会を設置し、「平成 27 年度自己点検評価報告書」（平成 28 年 4 月作成）を基本とした学校関係者評価を実施しましたので、下記の通り報告します。

今後も、この評価結果を活かし、更なる教育の質の向上を図ってまいります。

1. 対象期間

平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

2. 学校関係者評価委員

氏名	所属
高田 典之	(卒業生)
吉成 庄司	(卒業生)
吉原 栄治	(保護者)
渡邊 尚樹	(保護者)
雨谷 俊一	(地域住民)
本多 有佳梨	(地域住民)
伊達 延之	茨城ダイハツ販売株式会社 総務部 部長
大島 弘	株式会社 スズキ自販茨城 執行役員 サービス部 部長
神谷 貴之	茨城トヨタ自動車株式会社 総務部 人事主任
小野里 源治	日産プリンス茨城販売株式会社 サービス部 課長
野崎 和紀	茨城トヨペット株式会社 人事部 部長
金野 孝一	株式会社 北関東マツダ 管理部 採用グループ次長

3. 学校関係者評価の項目

学校関係者評価は、以下の 11 項目について実施します。

- (1) 教育理念・目的
- (2) 学校運営
- (3) 学校活動
- (4) 学修成果
- (5) 学生支援
- (6) 教育環境
- (7) 学生の受け入れ募集
- (8) 財務
- (9) 法令等の遵守
- (10) 社会貢献・地域貢献
- (11) 国際交流

4. 学校関係者評価

■ 1 教育理念・目的

- ・技術を身に付け、人間性を伸ばし未来を創造する整備士を育成するところが、評価できる。
- ・自動車整備としての知識・技術を初心者でも安心の教育プログラムが魅力です。
- ・人間力重視の社会人としてのマナーやコミュニケーション、自分を表現するプレゼンテーション能力を高めるカリキュラムが評価できる。

■ 2 学校運営

- ・運営方針は、目的・事業計画を基に年度ごとに策定し、年度初めに全教職員対象の研修会および教育研修会で周知している点が評価できる。
- ・情報システム化については、今後見直しも含めて必要に応じて改良を行っていく必要があると思われる。

■ 3 教育活動

- ・「国土交通大臣指定の自動車整備士一種養成施設」として指定されたカリキュラムを実施している。更に、高度な新技術や人間力アップのカリキュラムを導入するなど基本に忠実である。
- ・1級自動車整備学科（4年制）では、高度で特殊な設備や教材を用いてハイブリッド車から最先端装備のシステムを学び、接客対応を視野に入れた広範囲でより深い整備知識と技術を習得しているのは評価できる。
- ・車体整備学科（3年制）では、最新鋭の車体整備施設・設備で、基礎知識から板金・塗装・損傷診断・ボディー・アライメント（車体フレーム等の修正）などの実習を実施して時代性を反映させている。
- ・自動車整備学科（2年制）では、「2級ガソリン自動車整備士」「2級ジーゼル自動車整備士」「2級自動車シヤン整備士」「2級二輪自動車整備士」の4種類の資格を基本から始まり、安全性や各 부품の機能、材料や整備の基礎といった理論を学びながら実際の車輛を使用した実習を展開し、知識と技術が連動した授業で理解を深めており充実している。

■ 4 学修成果

- ・2級整備士の合格率は全国平均70%、1級自動車整備士の合格率は毎年30%前後という結果に対し、毎年高い合格率を継続している点で評価できる。
(2016年3月現在、国家資格2980名、合格者)
- ・その他の資格として、企業が求める検定資格をリストアップし指導方法を研究して取得させている。
- ・インターンシップ研修により実践技術を学んでいるところが良いと思う。

■ 5 学生支援

- ・就職については、企業が求める人材をヒアリングし、その結果をもとに個人面談を重ね最善の就職先を考え企業の採用傾向に基づき就職対策を実施し内定率100%を毎年継続している点が評価できる。
- ・学内選考と企業ガイダンスを毎年2月に実施し、早期就職内定を実現している。
- ・学生からの相談に対し、担任と連携して各種の相談に応じている点が評価できる。
- ・特別奨学金、試験特待生、資格特待性、学費の分割納入など、経済的に支援する制度は充実していると思われる。また、日本学生支援機構奨学金や各種の公的奨学金、民間奨学金の積極的な紹介や円滑な事務を心掛けて学生を支援している点も良いと思う。
- ・保護者には、前後期の期末試験後、各科目の成績、出席状況、資格取得状況などを「成績通知書」として発送しており、学習面、出席面についての連絡制度は充実している。

■ 6 教育環境

- ・ホームルーム、実習教室ともに冷暖房が完備され、実習車輛は各種メーカーの自動車・二輪・大型車まで多様な車種を導入しており、地元企業からの最新車輛の寄贈車も多く、最新技術の実車を使い授業を行っている。
- ・多数の企業との連携授業も実施し、インターンシップ研修による実践技術なども学び、また、本校で地元企業の整備技術大会を開催し、授業で体験できない現場の実習などの見学を行う点など教育環境は整っている。

■ 7 学生の受け入れ募集

- ・学生の募集広報活動における内容や説明表現については、学校の実績を基に、真実性、透明性、公平性、法令遵守において、担当の広報事業部が十分な注意を払うとともに、入学希望者に対して適切な判断材料を提供できるよう配慮していることは評価できる。
- ・本校の教育内容、成果を十分理解できるように「入学案内」や「ホームページ」、「学校見学会」、「体験入学会」、「オープンキャンパス」などで詳細に説明している。また、教育成果である教育実績、就職状況、資格取得状況なども合わせて説明しており、積極的に公開もしているので良いと思う。
- ・学納金は、各学科における入学金、授業料、実習費等について、教育内容や教育環境に照らし妥当な額を提示しており、参考として他校の学費水準も把握している為、標準的である。

■ 8 財務

- ・財務諸表の通り、学園の財務基盤は安定している。
- ・授業年度開始に当たって作成する予算に対し、適宜補正予算を組むなど、予算の編成および執行は適正に実施している。
- ・会計監査は、関連法規により公認会計士および監事により適正に行われている。
- ・財務情報については、決算書類等をホームページに公開している。

■ 9 法令等の遵守

- ・法令や設置基準の遵守については適正に行われているものと判断する。また、法令等による指定学科についても、その指定基準ならびに改正点等に適正に対応している。
- ・個人情報の保護については、「個人情報の保護に関する規則」、「個人情報保護に関する細則」、「個人情報保護管理に関する運用基準」を定め、教職員へ周知し、遵守している。今後もより一層対策を強化していくことを求めたい。
- ・自己評価については、「学校自己評価委員会」を組織し、定期的な評価を通して問題点を明らかにするとともに、その対策および改善策を検討し、財政的、人的資源の最適配分を考慮して実施しており、妥当である。
- ・自己評価結果については、「学校自己評価報告書」としてホームページ上に公開しているので、今後も継続を求めたい。

■ 基準 10 社会貢献・地域貢献

- ・地域高校生への出張模擬授業を行い、学生の職業への関心を高める支援を行っている点は評価できる。
- ・ボランティア活動として、地域の美化運動のため、学校周辺の清掃活動を行っているが、継続してほしい。

■ 基準 11 国際交流

- ・留学生の受け入れは、行っていない。

以 上

学校法人八文字学園 水戸自動車大学校
〒310-0812 茨城県水戸市浜田 2-14-22
